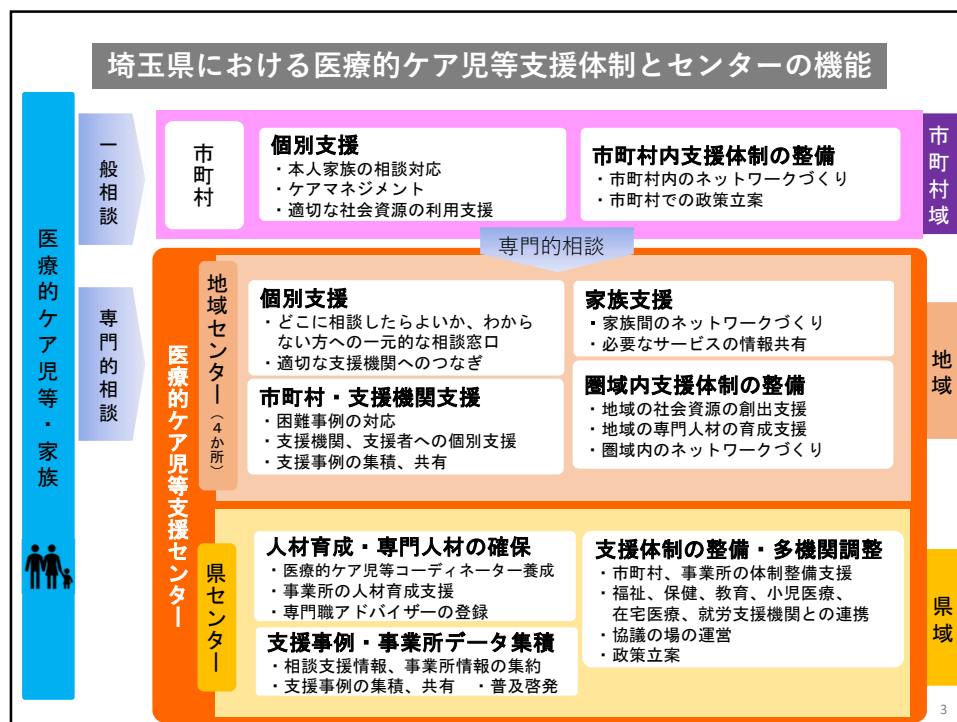




3

研修事業				
R6年度医療的ケア児等支援センター（県センター）主催研修				
研修名	内容	開催日程	場所	参加人数
医療的ケア児等コーディネーター養成研修	医療的ケア児等コーディネーターを養成する研修。福祉・医療・教育分野などを広く学び、実際の支援に当たってどのようなことが必要になるかワークを通じて理解する。	9月30～10月14日座学（動画配信）	Youtube	134人
		10月22日 終日 演習1日目（オンライン）	Zoom	128人
		10月29日 終日 演習2日目（対面）	県民健康センター大会議室AB	128人
医療的ケア児等コーディネーターフォローアップ研修	医療的ケア児等コーディネーターの活動事例発表など。	1月20日午後（対面）	彩の国すこやかプラザセミナーホール	91人
医療的ケア児等コーディネーター視察研修	医ケア児を養ったことがないコーディネーターを対象に、まずは知ってもらう目的。	11月下旬～12月上旬（8日程）	6施設（医ケア児を養った経験のある児童、特定短期入所、医療型障害児入所施設など）	20人
医療的ケア児の災害対策を考える	個別支援計画作成の必要性、事例共有	2月17日午後（オンライン）	Teams	203人
医療的ケア児等支援者養成研修	医ケア児に関わる人を幅広く対象にすることで、地域での支援者を増やす目的。福祉、医療、教育分野などを学んでもらう。	9月30～10月14日（動画配信）	Youtube	519人 （全科修了者295人）
医療的ケア児等支援者テーマ別研修：医ケア児等家族への心理支援	医ケア児を抱える家族を心理面からも支えられるよう、心理学的視点から関わり方のポイントなどを学ぶ。	9月11日午後（オンライン）	Zoom	209人
医療的ケア児等支援者専門研修（保育士向け）	保育所や児童発達支援に通う重症心身障害児への「遊び」について学ぶ。講義（実践例）＋情報交換	12月26日終日（対面）	さいたま共済会館第2ホール	44人
医療的ケア児等支援者専門研修（看護師、薬剤師、言語聴覚士等）	医療的ケアと薬と食事	2月3日～2月24日（動画配信）	Youtube	208人
医療的ケア児等支援者専門研修（保健師向け）	保健センターや保健所で保健師が行う医ケア児支援の取り組みについての講義、意見交換	3月21日午後（オンライン）	Teams	76人

4

研修事業

令和7年度 参加者募集中の研修

<どなたでも>

テーマ：「医ケア児の人生の歩み」

概要：小児期から成人期、そして高齢期へ。医療的ケア児の人生の節目に立ち会う小児在宅医の実践を、事例を交えて紹介します。医療的ケア児への支援が成人後、高齢期、そして最期の時まで切れ目なく行われることの大切さを学びます。

日時：令和7年9月19日（金）13時00分～14時45分

対象者：医療的ケア児者支援の支援者、医療的ケア児者当事者・御家族

定員：なし

方法：Teamsによるオンライン開催

申込：令和7年7月11日（金）～令和7年9月5日（金）

プログラム

13:00～13:05 オリエンテーション 埼玉県医療的ケア児等支援センター

13:05～14:40 「医療的ケア児の人生の歩み」（質疑応答含む）

医療生協さいたま生活協同組合 熊谷生協病院 名誉院長 小堀 勝充 氏

14:40～14:45 事務連絡、アンケート案内



5

当事者・支援者交流会

当事者の方

- ・自分たちの声をもっと聴いてほしい
- ・思いを発信したい、知ってもらいたい
- ・支援者と意見交換したい

支援者の方

- ・当事者の方の思いを聞きたい
- ・どのようなことに困っているのか知りたい
- ・自分にできることを考えたい

- ・昨年度から、当事者と支援者の交流会を定期開催しています。



- ・今年度は、県内各地の家族会の協力も得て、4地区で開催予定！



- ①7月11日（金）彩の国すこやかプラザ研修室1～3
- ②11月25日（火）東松山市民文化センター
- ③1月30日（金）越谷市役所エントランス棟
- ④3月27日（金）三芳町中央公民館

6

埼玉県内の医療的ケア基礎情報

		R6年度	R7年度
①	医療的ケア児の人数（市町村調べ）	825人（R6.4）	922人（R7.4）
②	重度心身障害児者の人数（市町村調べ） ※医ケア児者含む、①と重複あり	2,780人（R6.4）	2,732人（R7.4）
③	医療的ケア児支援のための協議の場の設置状況	53市町 （R6.4）	54市町 （R7.4）
④	医療的ケア児コーディネーターの配置状況	55市町・173人 （R6.4）	60市町・280人 （R7.4）
⑤	レスパイトケア実施短期入所事業所数（老健含む）	28か所 （R5.10）	28か所 （R7.3）
⑥	医療的ケア児に対して訪問診療を行う医療機関数	20か所 （R6.4）	21か所 （R7.4）
⑦	訪問看護事業所のうち、小児患者対応可能な事業所数	265か所 （R6.4）	268か所 （R7.4）
⑧	医療的ケア児に対応できる保育所数	26施設（18市町） （R4）	37施設（20市町） （R5）
⑨	公立特別支援学校及び市町村立小・中学校等における医療的 ケア児数（さいたま市含む）	特支 416人（R5） 小中 53人（R5）	特支 未公表（R6） 小中 未公表（R6）
⑩	公立特別支援学校及び市町村立小・中学校等における看護師 配置数（さいたま市含む）	特支 93人（R5） 小中 50人（R5） （幼稚園1名含む）	特支 未公表（R6） 小中 未公表（R6） （幼稚園1名含む）
⑪	公立の特別支援学校及び市町村立小・中学校等における人工 呼吸器を使用している通学生数（さいたま市除く）	特支 18人（R5） 小中 0人（R5）	特支 24人（R6） 小中 未公表（R6）

7

7

県内医療的ケア児受入事業所

医療的ケア児受入可能な障害児通所支援事業所 97か所（令和6年7月調査）

【対応可能な医ケア】（単位：か所）

	経管栄養 (胃ろう、 腸ろう、 経鼻経管 等)	吸引（鼻 腔又は気 管内吸引）	気管切開 の管理	痙攣時に おける座薬 挿入、吸引、酸 素投与又は 迷走神経刺 激装置の作 動等の処置	ネブラ イザー の管理	酸素療 法	導尿	排便管理 (消化管、 ストーマ、 エラウエ 排便、洗 いの管理 腸等)	鼻咽喉の ケア、 吸引の 管理	血糖測定	人工呼吸 器	皮下注射 (インス リン注射 等)	中心静脈 カテーテ ルの管理	継続的な 透析
受入可	65	60	59	48	46	44	43	41	38	38	33	29	20	11
受入不可	17	19	19	30	28	26	33	31	27	31	38	36	44	51
要相談	15	18	19	19	23	27	21	25	32	28	26	32	33	35

受入しやすい

受入しにくい

【配置看護師数別】

医ケアは保護者がや
る位置づけ等

短時間勤務の職員も多く、1日で
見るとひとり職場のことも

配置数 （人）	0	1	2	3	4	5	6	7	8
事業所数 （か所）	26	32	15	12	7	1	1	2	1

8

8

本日の流れ

10:00～10:15	オリエンテーション
10:15～11:05	グループワーク①「看護師の役割」
11:05～11:15	<休憩>
11:15～12:35	講義①「医療的ケア児支援の基礎基礎知識」 埼玉医科大学総合医療センター小児科教授 是松 聖悟氏
12:35～13:35	<昼休憩>
13:35～14:35	講義②「トラブルシューティング、緊急時対応」（質疑応答含） 埼玉医科大学総合医療センター小児科教授 是松 聖悟氏
14:35～14:45	<休憩>
14:45～15:25	グループワーク②「家族支援」
15:25～16:10	講義③「家族支援の実践～すまいるスポットさいたまの取組～」 さいたま市医療的ケア児保育支援センター長 酒井 基容子氏
16:10～16:20	総括 埼玉医科大学総合医療センター小児科教授 是松 聖悟氏
16:20～16:30	事務連絡、アンケート記入